

「連携協働都市」の実現へ

ボランティア活動の輪を広げよう

現在、ボランティア活動への関心が高まっています。ここでは、町内のボランティア団体のリーダーの方々と佐伯町長に、ボランティア活動の役割と課題、また住民参画型福祉に欠かせない、ボランティアのネットワークについて話し合っていました。

ボランティアとは？

町長 実際に活動している皆さんにお伺いしますが、無料だから活動に誇りが持てる、有償であればボランティアではないという考えがありますが、いかがでしょうか？

神吉 辞書によると「志願するとか、無償で自発的にする行為」で、有償の行為はボランティアに当たらないのかもしれないね。
内田 少し考え方が古いかもしれませんが、「有償だから活動をすすめる」というものをボランティアとは言えないと思います。しかし、将来的には最低限のユーザー側の負担が必要になるのかもしれないね。



神吉 恵さん

対談出席者

- ・佐伯 忠良町長
- ・内田 和久さん
(播磨町社会福祉協議会・播磨町ボランティアセンター担当)
- ・神吉 恵さん
(トウインくる代表)
- ・長瀬 クミノさん
(ともしび代表)
- ・山田 孝子さん
(ボランティア日本語教室はりま代表)



ボランティアについて語り合う

山田 私たちは無償で活動しているのですが、生徒さんからは千円いただいています。そのお金は、預託金みたいなものでクリスマス会や料理教室に使っています。勉強するときにもお金を払ったらその分、元を取ろう”ではないですが、一生懸命勉強しようという気持ちになるのではと考え負担して頂いています。ですからニーズがあるなら、有償でもいいと思うんです。

町長 兵庫県社会福祉協議会も「無償で行うのがボランティア」という考え方のようですが、これからはどうでしょう。将来このまま無償なら、誰が活動するのでしょうか？ せめて年に一回くらい何か楽しみ、言い換えれば精神的なフォローがあってもいいと考えます。
また「有償で行うものはボランティアではない」と簡単に割り切れるものではないと思うんですね。ボランティア精神があつてこそ参加しているのだから、有償ボラン

ティアというのは立派に成り立つのではないのでしょうか。

思いやりの心

山田 外国では、シルバースーツというものがありません。外国人が日本に来て「なぜ、シルバースーツがあるのか？ シルバースーツの所しか席を譲らないのか？」と尋ねられたことがあります。外国の方と日本人とでは、ボランティアに対する考え方が違うのでしょうかね。

私は、ボランティアは基本的には「自発的に無償でするもの」だと思います。しかし将来それが発展して、「有償でもしてほしい」ということになればバランスがとれて、良いと思います。

確かに、有償・無償の問題もありますが、一方で、人の気持ちを思いやる心を持った人を育てることも、必要ではないでしょうか。

町長 日本では「社会活動にお金を出す」とはボランティアではなく、体を使つてするのがボランティアである」という意識があります。しかし、諸外国では、「スポンサー」として企業がお金を出す



佐伯 忠良町長

この計画は、播磨町社会福祉協議会に参加している約二十団体、四百人に何かの形で、地域で活躍していただくというものです。過去二年は、所属団体に関係なく自分たちの住んでいるコミセン区域の人たちが集まって、民生委員・民生協力委員・ボランテ

地域内での活動

長瀬 兵庫県社会福祉協議会の三年計画でボランティア活動推進委員会というものを実践していて、今年で三年目を迎えています。

これはボランティアである」と認識されています。そのことを考えると、ボランティアとは本来「精神」を指していて有償・無償は関係ないと考えられます。
また、ボランティア精神に基づき、さまざまな活動が行われていますが、今の活動は「点」ではないかと感じています。言い換えれば自分の範囲を超えて活動していないということなのです。お互いに役に立ちあえるように、体制を組む必要があると思っています。

神吉 ある人がボランティアグループで活動しているときは、社会福祉協議会に所属している団体で活動していますから、いわば「縦割りの活動」ですよね。しかし個人として地域での活動を考えた場合、活動している人は少なくともボランティア精神を持っていきますから、各自連携を取りながら、自治会長や民生委員と協働で必要な時、例えば阪神大震災のような災害時に、支えあいができるのではないのでしょうか。

町長 それには自治会長の役割が、大変重要になりますね。そのボランティア活動をする人たちの連携を、自治会長・民生委員が知っていて、意識しているかによって活動範囲が変わりますからね。

長瀬 最近では自治会長自身が、会議に参加していただけることも多くなりました。自治会の方も意識が徐々にですが、変わってきていると感じています。

町長 町内に約二十のボランティアグループがあり、それぞれリーダーがいるので